

夫人探索

夢野久作

青空文庫

一

「百万円あつたら、ああしよう……こうしよう」

と空想していた青年中村芳夫は、思いもかけぬ伯母^{おば}の遺産を受け継いで一躍百万長者になつた。

芳夫は早速数万円を投じて素破^{すば}らしい邸宅を建てた。そこに美姫と、美酒と、山海の珍味を並べて、友達を集めて昼夜兼行の豪遊をこころみたために、百万円は瞬く間に無くなつて、些^{いささか}なからぬ借財さえ出来た。その抵当に邸宅を取られた彼は、再びもとの通りの無一物になつてしまつた。

二

「不思議だ。奇怪だ。不可解だ。百万円を得ない前の自分と、失つた後の自分との間には何等の相違もない。空想の百万円と実物の百万円とは、使用した結果から見ると全く同じ

ものであった。おお百万円よ。お前は何のために自分に天降あまくだったのか。何故にかくも無意義に自分から消え去ったのか。おお百万円よ。お前はどこへ行った」

芳夫は腕を組んでこう考えた。識しっている限りの人々にこの疑問を提出して解決を求めた。

三

山本という社会学者は云った「百万円をお前から奪い去ったのは、百万円自身である。お前が識しったことではない」

松井という法律学者は云った「お前自身がお前から百万円を奪い去ったのだ」

村上という心理学者は云った「お前の百万円を奪ったものはお前の心の中に居る。お前の心の奥に隠れて、人知れずニヤニヤ笑っている」

又空くうよ誉よという高僧はこう説といた「百万円は無くなっていない。お前の心の中にチャンと隠されている。その百万円を取り返すには、お前から百万円を奪った、その心を探し出して殺しまして終しまうのが一番だ。そうすれば百万円の金は、自然とお前の身に帰って来る」

最後に万象という占断者うらないしやはこう判じた「これは天地否てんちひという卦けです。自然の事を自然の順序に考えて行くと、万事が否定的のフン詰まりになるという、実に不可思議な玄理げんりをあらわした形です。すべての順序を逆にして、考えて行つて御覧なさい。地天泰ちてんたいという卦けになつて一切が泰やすらかに解決されてゆきます」

四

芳夫は思案に余つたあげく、高山という名探偵を訪問して一切の経過を打明けて頼んだ。「僕の百万円を奪つた奴を見付け出して下さい。百万円を取り返して下さい。成功すれば謝礼としてその半額を呈上します」

名探偵は快よくうなずいた。

「どうか葉巻を一本吸う間待つて下さい。考えますから」

五

葉巻が短かくなると、高山名探偵は窓の外へ投げ棄てた。組んでいた腕を解いて、事もなげに微笑した。

「百万円を奪った犯人は、あなたの心のほかに居ります」

芳夫は愕然とした。無言のまま眼を輝やかして一膝進めたが、名探偵は依然として微笑を続けた。

「それは一人の若い女性です。しかも非常な美人で、学識しんぞうといい、心操しんそうといい、実に申分のない処女です」

芳夫は思わず叫んだ。

「それはどこに居りますか」

「それを探し出し得る人は世界中にあなた一人です」

芳夫は面喰った。独ひとりごと言ことのように云った。

「いったい……それは……どういうわけで……」

名探偵は厳粛な口調で説明した。

「あなたは百万円を得られる前に、いろんな計画を立てられたでしょう。それはどれもこれもバラシイ理想的なものだったでしょう」

芳夫は無言でうなずいた。

「けれども、その計画の第一着手として、理想的な美少女を令夫人に迎えることを、あなたは全く忘れておられました。あなたが百万円を得られると同時に、そうした立派な令夫人を迎えておられましたならば、あなたの百万円は一文も無意義に費されずに済んだでしょう」

青年芳夫の眼から熱い涙がハラハラと溢れ落ちた。高山名探偵はその顔を凝視しつつ、断乎として云い切った。

「すなわち……あなたから、あなたの百万円を奪い去ったものは、あなたの未来の夫人たるべき、その美少女です。あなたはその美少女から百万円を奪い返すべき権利があります」

六

中村芳夫は、高山名探偵の、こうした炯^{けい}眼^{がん}と推理力に心から嘆^{たん}服^{ぷく}してしまった。涙と共に床の上にひれ伏した。

「どうぞ私と力を合わせて、その女を探して下さい。百万円の全部をあなたに捧げても構

「いませんから……」

名探偵は一議に及ばず引き受けた。

けれども芳夫青年から、百万円を奪い去ったであろうほどの、理想的な若い女性は容易に見つからなかった。稀に居るにはいたが、芳夫から百万を奪った犯人であることを告白して、結婚の申込を承諾する少女は一人も居なかった。

芳夫青年と高山名探偵は、とうとう乞食同様になつて、野たれ死にをしてしまった。

青空文庫情報

底本：「夢野久作全集3」ちくま文庫、筑摩書房

1992（平成4）年8月24日第1刷発行

入力：柴田卓治

校正：江村秀之

2000年7月4日公開

2006年3月10日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたっては、ボランティアの皆さんです。

夫人探索

夢野久作

2020年 7月18日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>